

安全データシート SDS

作成 2017年5月31日
改定日 2023年7月24日

1. 化学物質等及び会社情報

製品
製品の名称 デンサンウェット ND-55S ND55L
供給者情報
会社名 ジェフコム株式会社
住所 〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16
担当部署 品質管理課
電話番号 072-988-3813
FAX番号 072-988-3800
推奨用途及び使用上の制限 ケーブル等の入線潤滑

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 区分に該当しない

健康に対する有害性
急性毒性(経口) 区分5
急性毒性(経皮) 分類できない
急性毒性(吸入:ガス) 分類できない
急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵 ミスト) 分類できない
急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない
皮膚腐食性 / 刺激性 区分3
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 区分2A
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 分類できない
生殖毒性 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 区分3
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 分類できない
誤えん有害性 分類できない

環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性) 区分4
オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報
飲み込むと有害のおそれ
軽度の皮膚刺激
強い眼刺激
(気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ または(麻酔作用)
眠気およびめまいのおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

安全対策

よく注意書きを読み、取り扱うこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。
禁煙。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
換気装置 / 照明機器を使用すること。
粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護マスクを着用して、屋外、
換気の良い場所で使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

3.組成、成分情報

単一製品混合物の区別	混合物
成分及び含有量	固形パラフィン乳化物 ワックス 水 非イオン系界面活性剤 ポリオキシエチレン アルキルエーテル ポリオキシエチレン アルキルアמידアミン 塩化イソチアゾロン及びイソチアゾロン プロモントロアルコール ※それぞれの含有量は開示せず
官報公示整理番号(化審法)	有り
官報公示整理番号(安衛法)	既存
危険有害成分	固形パラフィン (労働安全衛生法 表示・通知対象物質)

4.応急処置

飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと。水又は牛乳を与えて胃内を薄め直ちに医師の手当てを受けること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 何らかの症状がみられる場合直ちに医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗い流すこと。 皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。
衣類に付着した場合	直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐか、取り除くこと。
眼に入った場合	水で15分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗い、直ちに医師の手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合	医師の診断、手当てを受けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5.火災時の措置

消火剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水。
使ってはならない消火剤	棒状放水。
火災時の特定危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素・窒物等の有毒ガスが燃焼ガスに含まれる。消火作業の際には煙の吸入を避ける
特定の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消剤使用してする。 消火作業は、可能な限り風上から行う。 関係者以外は安全な場所に退避させる。 周囲の設備などに散水して冷却する。 製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行なう者の保護	燃焼ガスには、一酸化炭素・窒物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な保護具(手袋・眼鏡・マスク)を着用し、煙の吸入を避ける。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業には必ず保護具(手袋・眼鏡)を着用する。 多量の場合、人を安全な所に退避させる。 こぼれた場合は滑りやすい為に注意する。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接排出しないようにする。
除去方法	少量の場合は、吸着剤(土・砂ウエス等)でさせ取り除いた後、 残りをウエス・雑巾等で良く拭き取り、多量の水で洗い流す。 多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し安全な所に導いて からドラム等に回収する。
二次災害の防止	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を 準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因と なるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置 する。
注意事項	目に入らないように保護眼鏡を着用する。必要に応じて局所排気 を行う。
安全取扱い注意事項	作業場の換気を十分行う。 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 床へ漏洩した場合、スリップしやすい物質であり十分に 洗浄後作業を継続すること。

保管

適切な保管条件	直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	製品使用容器に準ずる

8.暴露防止及び保護措置

設備対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設 置する。取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備 を設置する。
許容濃度 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH	設定されていない 設定されていない 時間加重平均(TWA) 2mg/m ³ (固形パラフィン・ヒュームとして) 短時間暴露限界(STEL) 設定されていない
保護具 呼吸用の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	通常の手入れでは特に必要ない 不浸透性保護手袋 側板付き普通眼鏡型 長袖作業着

9.物理的及び化学的性質

形状	液体
色	淡黄色
臭い	僅かに有り
pH	弱酸性

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点	情報無し
融点(流動点)	情報無し
分解温度	情報無し
引火点	情報無し
発火点	作用無し

爆発特性

爆発限界	作用無し
蒸気圧	情報無し
蒸気密度	情報無し
密度	情報無し

溶解性

溶媒溶解性	水に可溶
オクタノール/水分配係	情報無し
その他のデータ	情報無し

10.安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件で安定
反応性	自己反応性無し
避けるべき条件	高温、直射日光
避けるべき材料	強アルカリ性物質、酸化性物質、還元性物質
危険有害な分解生成物	強アルカリ性物質、酸化性物質、還元性物質と接触させた場合、窒素酸化物、硫酸化合物、ハロゲン化合物を生じることがある。

11.有害性情報

急性毒性

経口	区分5
経皮	情報無し
吸入(蒸気)	情報無し
吸入(ミスト)	情報無し

局所効果(皮膚、目など)

皮膚腐食性及び刺激性	軽度の皮膚刺激
眼刺激性	強度の刺激

感作性

呼吸器感作性	情報無し
皮膚感作性	成分に皮膚感作性物質を含む
慢性毒性・長期毒性	情報無し
がん原性	情報無し
変異原性	情報無し
催奇形性	情報無し
生殖毒性	情報無し
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	情報無し
誤えん有害性	情報無し

12.環境影響情報

土壤中の移動性	情報無し
残留性／分解性	急速易分解性でない成分を含んでいる
生態蓄積性	生態蓄積性は低いと推測される
生態毒性 水生生物毒性	水生生物に有害
オゾン層への有害性	なし
その他のデータ	情報無し

13.廃棄上の注意

残余廃棄物

焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

容器及び包装

空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14.輸送上の注意

国内法規制

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

国際法規制

国連分類・国連番号

航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

該当せず

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光を避ける。

緊急時応急措置指針番号

なし

15.適用法令

国内適用法

化審法

特定化学物質・監視化学物質を含有しない

消防法

該当せず

安衛法

表示・通知対象物質 (固形パラフィン)

毒劇物法

該当せず

船舶安全法

該当せず

航空法

該当せず

火薬取締法

該当せず

高圧ガス保安法

該当せず

化学物質管理促進法

第1種指定化学物質 (ポリオキシエチレン アルキルエーテル)

海洋汚染防止法

Y類物質 (パラフィンワックス)

16.その他の情報

本データシートは当該製品の一般的な取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行ってください。本データシートは保障値ではありません。
